

2004年4月27日

各位

新たな中外製薬とロシュとの研究契約について

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／社長：永山 治〕(以下、中外製薬)と、F・ホフマン・ラ・ロシュ〔本社：スイス・バーゼル市／会長兼CEO：フランツ B・フーマー〕(以下、ロシュ)はこのほど、抗体などのバイオ医薬品を含む高分子医薬品の探索研究における研究協力体制を構築するため、新たに研究契約を締結したことをお知らせいたします。

2001年12月の戦略提携発表以来、中外製薬とロシュの両社は広く創薬基盤技術を共有することの意義について認識を深めてきました。そして2002年9月、低分子合成医薬品の探索研究における研究協力契約を締結し、創薬研究における戦略的アライアンス・シナジーの強化に取り組んできました。今回の高分子医薬品の探索研究における研究契約も、その結果の表れです。

中外製薬とロシュの両社は、戦略提携の価値はこれらの低分子、高分子医薬品探索研究契約締結にみられるような研究領域における協働によって創造されるものであると信じており、新たな価値創造に向けた取り組みの進展に大きな期待を寄せています。なお、この研究契約の締結は、両社がそれぞれ国内外で積極的に参画している共同研究やコンソーシアム等、第三者の権利に抵触しないことを前提としています。

以上